

U-35 あんじょう協働

リビングラボ

NEWS LETTER 2

3月18日土曜日の朝、アンフォーレ1階多目的室で「あんじょう協働リビングラボ」の2回目を開催しました。参加者は、市民・市職員に事務局スタッフを含めて28人でした。

この日のテーマは「テーマ研究～アイデアブレスト」。まずは参加者どうしの関係性づくりから。次に、アンケート調査等を通して見えてきた安城市の協働の現状と課題について共有したあと、関心のあるテーマを選んでグループになり、「自助」「互助」「公助」の視点から課題解決のためのアイデアを出し合って意見交換。最後に、グループイチ押しのアイデアを3つ選んで全体で発表・共有しました。

1. アイスブレイク

簡単なゲームや自己紹介を通して、参加者同士の関係性づくり。対話をする上で大切な「聴き方」や「話し方」などコミュニケーションのコツも学びました。



相手の目を見て
耳を傾けて
心に刻む
「傾聴」が大事！



マルチパートナーシップで
つながっていく
協働が必要！

2. あんじょう協働の現状と課題

市民・町内会・市民活動団体を対象にした
3種のアンケート調査から見えてきた

安城市の協働の現状と課題

- 若い世代、新住民ほど町内会加入率が低い
- 若い人の町内会への参加意識が低い
- ボランティア・市民活動に参加している人13%に対し、関わってみたいという人は44%！
- 町内会では役員のなり手不足などが大きな課題
- 町内会の活動や市民活動は新型コロナウイルス感染症によって近年大きな影響を受けている
- 市民活動は、とくに「情報」「人材」面での課題を抱えている
- 市民活動団体と地域団体、事業者との協働など、多様な協働関係を生むための支援が課題 など



市民協働推進計画に基づいて
様々な事業を進める中で見えてきた

安城市の協働の現状と課題のポイント

①理解促進

ボランティア活動、市民活動、町内会などの地域活動の魅力発信をいかに進めるか？

広報、WEB、市公式LINE、チラシなどで情報発信しているが行き届いていない。どうすればいい？

②活動のきっかけづくり・担い手づくり

ボランティア・市民活動、町内会などの地域活動の担い手や参加者をどう確保するか？

やってもいいと思っている人を、どう活動へと導くか？
若い世代の参加促進は？

③確かな町内会（地縁コミュニティ）づくり

地域の安全・安心・自治を支える町内会の加入率アップと担い手確保をどう実現するか
防犯・防災・福祉等、地域の特性に合わせた活動が重要。
加入率が上がる町内会とは？

④マルチパートナーシップ

市民活動団体と地域団体、事業者との協働など多様な協働関係づくり

多様な主体の協働関係を生むきっかけとなる機会・場はどうあるべき？



市民協働課
浅井さん

3. グループワーク「テーマ研究～アイデアブレスト」

5つの課題の中から興味関心のあるテーマを選んでグループになり、「自助」、「互助（共助）」、「公助」の視点から、課題解決のためのアイデアを出し合って意見交換のグループワークを実施。最後に「グループイチ押しのアイデア」を3つ選んで（★）全体で発表・共有しました。



1 グループ

「まちや地域に関わる人、まちや地域を楽しめる人を増やすためには？」

★循環型の仕組みづくり

まちを知る→まちに入る→まちを伝える→まちで遊ぶ→もっとまちを知る…とスパイラルで続けていきたい。

★安城版 東海オンエア

「あなたもまちに関わって、インフルエンサーになりませんか？」



2 グループ

「若い人を市民活動や協働のまちづくりに巻き込んでいくためには？」

★若者にとっての付加価値（メリット）

例えば、アルバイトと協働をつなげるなど…

★参加のハードルを下げる（メイクイットイージー）

最初はリモートにしてみるなど…

★若者が使いやすい方法で宣伝（アドバタイズメント）

成人式、学校など、若者が目にしやすい部分でPR・アプローチ。

若者の共有する力、発信力をうまく取り入れて！



3 グループ

「町内会や町内福祉委員会の担い手を確保するためには？」

★もし町内会がなかったら…

「どうなる社会？」の動画をつくる

SNSの活用

★成人式ならぬ還暦式をやる

60代＝アクティブシニアの参加を促す

★好きなもの自慢大会をやる

自己開示で町内会になじめるように！

町内会を楽しんで参加できるイベントを！



5 グループ

「新たな市民活動やアクションを創発させるためには？」

まずは想像・企画する、やってみる、知ってもらう、

出会う、持続可能な方法で（助成も）…

★世代の異なる人との出会い系

Cafeで交流、太極拳のイベントなど



ひとことアンケートより グループで意見を出し合うことで、考えの幅を広げることができた／みんな違うけれど実はつながっている。意外な共通点が見つかるので対話は大切／既存の物を有効に活用するだけではなく、新しい視点で仕組みやきっかけづくりのアイデアがたくさん出ておもしろかった／若い世代の強み（発信力、共有力）をどう活かしていくかはとても重要な気がします ほか

【発行・問合せ先】

安城市役所 市民協働課

TEL 0566-71-2218

✉ kyodo@city.anjo.lg.jp

※8:30～17:15（土日祝日を除く）

4月15日土曜日の朝、アンフォーレ1階多目的室で「あんじょう協働リビングラボ」の3回目を開催しました。参加者は、市民・市職員に事務局スタッフを含めて24人でした。

この日のテーマは「共創！NEXT PROJECT/チーム結成」。まずは、参加者一人ひとりが宿題として考えてきた、安城市の地域・行政課題を解決しながら持続可能な未来を創るプロジェクトの案を発表。

その発表を受けて、お互いに仲間を募り合ってチームを創り、今後のプロトタイピング（試行・社会実験）までを見越したプロジェクト案を検討。最後に、班で決まった方向性を発表・共有しました。

1.宿題シートの発表会

各自が考えてきた「あんじょう共創！NEXT PROJECT」のアイデアを紹介しました。



■ カモン若者！年代職業ごちゃ混ぜ交流会！

安城で頑張る大人やイベントを知ってもらう交流会。「参加賞」や「ガクチカ」を推し、集客につなげたい！

■ 学生安城活性化チームプロジェクト

学生の発想力でイベントを企画～実行。2年制にして、上級生と下級生をつくって持続可能な仕組みに！

■ 安城！発展配信プロジェクト

安城のボランティアやイベント情報を若者に発信するサイトやアプリをつくる！制作段階から学生も参加！

■ 還暦式～人生はこれからが楽しい～

地域への参加を促すきっかけづくりとして。まずはアクティブシニア層から。サークル勧誘のような形で！

■ 外国人参加の第一歩を作る

外国人が継続的にまちづくりイベントに参加できるようにしていきたい。ゴールは、リビングラボへの参加！

■ Anjo△Virtuality

若者の「参画」の一歩としてメタバース上でセミナー、コミュニティ活動、資料閲覧など。企画はコンペで！

■ チェアリングでゆるっと交流 in Anjo

公園等に椅子を持参して集まり、安城のまちについて話したり、マルシェ、音楽、ゲーム、映画鑑賞なども！

■ 地域デビューしよう！～再び若い世代に～

企業に出向いたり、公共施設で、町内会やボランティア活動等の説明会を開催。定年前から地域への移行を！

■ 町内会役員やりたいやりたいプロジェクト

役員の報酬を引き上げ、専門の事務員を置く！市役所にも専門の対応窓口を置いては？！

■ ドラムサークルで“エン”を繋げよう！

音楽の力でまちづくり。年齢・性別・障害・人種などに関わりなく、「縁」でつながって世界を平和に！

■ 地域を知って、体験して、好きになる！

月3回程度、市内の大学生に向けて、地域活動の説明・体験・フィールドワーク・イベント開催・企画など！

■ U-35 みんなで楽しく！クリーン大作戦！

草抜きとゴミ拾いイベントで仲間づくり。他の地域活動につなげる。祭りの前後にも開催し、地域の人と交流！

■ タウンサマーフェスタ

祭りのメインは盆踊り。曲ごとに地域でチームを組み、円の中心で手本となって踊る。優秀チームを表彰！

■ An-Houre（アン・ホウレ）

イベント案のプレゼンコンテスト。通りがかった人でも投票可。入賞案は企画・運営のサポートを受けて実施！

■ ライブ・ラリー（Live・Rally）

探した本のタイトルでしりとり、本のプレゼン、読んでいない本で読書感想文など本を通じて人と繋がろう！

■ 明治キャナルサイド・ネットワーク

明治用水の水路網（道）を使って、市内団体やイベントをワンチームとして繋ぐまちづくり拠点をつくる！

■ 安城市ゆめまちシティプロジェクト

子どもたちが日常的に自分で行くことができ、やってみたいことができる遊び場をつくる！大人たちは見守り。

■ みんなに「あいニコ」

放課後の教室で、企業・学生・ボランティア等が様々な体験を提供！異世代とつながる第3の居場所をつくる。

■ ひまわりやれんげを使った地域づくり

市の交付金制度を使って、子どもと一緒に地域ぐるみで草花を育てて地域の絆をつくらう！

■ 地域支え合いボランティアタクシー「まちモビ」

地域のボランティアドライバーでデマンド型タクシー。高齢者の移動を助けたい！地域協議会で運営。

2. 仲間探し〜グループワーク「My Project から Our Project へ」

発表を元に、お互いに声を掛け合い、仲間を募ってチーム結成。チーム内でプロジェクトの褒め合いや深め合いをしたあと、チームで1つのプロジェクトを考え、固まってきた方向性と展望について発表・共有しました。

A チーム

ゴール・目的: 学生が集まれる場所づくり。

取り組み内容: 就活相談として、専門家ではなく、人生の先輩から「リアルな声」を聞きたい！



D チーム

「エネルギーの地産地消」 (仮)

ゴール・目的: 世代間交流。おせっかいで人を育てて、防犯・防災につなげたい。

取り組み内容: オープンカフェで大人が遊んでいる子どもを見たり、読書会や、子連れパパ・ママの集い、商店街で遊びをしたり、体を使った演劇やダンスなどの遊びをしたり…。市民だけでなく企業や、市役所職員・OBなども巻き込んでやっていきたい。



ゆるっと (B チーム)

「チェアリング with ドラムサークルで みんなゆるっと交流 in Anjo」

ゴール・目的: 外国人を含めたみんなが集って交流し、つながる。

取り組み内容: 椅子を持って集って、話をしたり、ドラムサークルをしたりしてゆるっと過ごす。トライアルをする時には、他のチームのみなさんも、友達を誘って是非来ていただきたいです！



C チーム

ゴール・目的: 町内会や市民団体の担い手不足を解消！

取り組み内容: 還暦式 (仮) を開催し、市民総出で還暦デビューを祝う。60歳でいいのか？人をどう集めるか？などの課題あり。また、七夕音頭を各町内会で練習して踊る？など、より良いコンテンツを今後考えていきたい。



プチ講評

私も還暦世代。第3の居場所をつくりたいという思いもあり、去年からスポーツボランティアに関わり出したのですが、携帯にオープンチャットでどんどん情報が入って来るようになり、強制参加 (笑)。時代は変わったなあ…と感じます。

これまでは課題をどう解決するか、ロジックを組んでやってきたが、「僕はこんなことをしたい」「私はこんなことをしたい」といったマグマをどうロジックにつなげていくかがこれから僕らが市民協働の仕事としてやっていくべきことだと思ったし、ここに集まっているような皆さんはもうしていることなんだと。

今回の活動が安城市の協働の先駆けになっていくといいと思いました。



ひとことアンケートより

皆さん具体的に考えていてすごいなと思いました／実際に企画することで、現実感が増してきました／考えていたアイデアに新たな視点で意見をもらうことで、膨らんでブラッシュアップされる。対話は大切／案や企画をつく上げる楽しさを発見した／次回も楽しみにしています！ ほか

【発行・問合せ先】

安城市役所 市民協働課

TEL 0566-71-2218

✉ kyodo@city.anjo.lg.jp

※8:30~17:15 (土日祝日を除く)

5月13日土曜日の午前、アンフォーレ1階多目的室で「あんじょう協働リビングラボ」の4回目を開催しました。参加者は、市民・市職員に事務局スタッフを含めて19人でした。

この日のテーマは「プロトタイプング／試行や社会実験の企画」。安城市の地域・行政課題を解決しながら持続可能な未来を創っていくため、前回結成したチームごとに次回リビングラボ（7／8）までに取り組む「おためしアクションプラン」の内容をブラッシュアップし、最後に全体で発表・共有しました。

1. グループワーク「おためしアクションプランの策定」

前回結成したチームごとに、次回リビングラボまでに取り組む「おためしアクションプラン」の内容をブラッシュアップし、最後に全体で発表・共有しました。

A チーム

「世代間交流」

就活が気になる3年生をメインとした学生と社会人のみなさんの交流会を、6月25日（日）の午前に市民会館で開催したいと思っています。

市役所職員やNPOで働いている人、企業で働いている人などに講師になってもらい、仕事の話や業界の話などを本音で話してもらえるといい。もし参加したい方がいましたら連絡をお願いします！



ゆるっと(Bチーム)

「ゆるっとチェアリング with ドラムサークル」

プロジェクトの目的・ねらいは、外国人や若者を含め、みんなが気軽に集まれる場をつくり、コミュニケーションを活性化し、安城のまちづくりにつなげたい。

6月24日（土）の午後、アンフォーレの願いごと広場にて、チェアリングとドラムサークルをする予定です。学生や町内会について話をしたり、どんな場に使ってもらってもいい。これからいろんな団体さんに参加を呼び掛ける予定ですが、リビングラボのみなさんも、よかったら是非参加を！その場合は今月中にお知らせください！

「還暦式 60 歳からの地域デビュー」

町内会や市民団体の担い手不足の解消のため、活動を知ってもらうことをネライとして、関連性のある既存のイベントに便乗して、地域活動している人の話を聞くシンポジウム（座談会）を開催。みんなで地域デビューをお祝いする。

まずは協力団体の話を聞くとところから。アンケートをもとに、町内会を学ぶ会を開いたりできるといい。



チーム「つ」(D チーム)

「つくる つたえる つながる ものがたり」

目的は 0 歳から 100 歳までの世代間交流。2 時間くらいのワークショップをアンフォーレで開催。①参加者のおすすめの本の紹介②読まない（読んだことのない）本の読書会③物語をつくる④体を動かしてエクササイズの 4 部構成。各コーナーを担当者が担当。

まずは B チームの 6 月 24 日のチェアリングの時にコラボでおためし開催させてもらい、その先に自分達で開催できたらいいなと思っています。

伝え方のコツ講座

次回の発表会に役立つ、「伝え方」のコツを聞きました。

おためしアクションプランの活動を支援する「プロトタイプ補助」(1 グループ上限 1 万円) も、用意しました！



- プレゼンは、相手に理解してもらうだけでなく、共感によって相手の心や体を動かしてナンボ。提案によって担い手となる仲間を増やしたり、参加してもらえよう、心に響くものにできるといい。
- プレゼンは、「みんな」に届けるのではなく、「こんなあなたへ」と、年齢や趣味嗜好など具体的なメインターゲットを設定してメッセージを届けるといい！
- まちづくりの行動原理の 3 要素は①必要・重要・人のためになるから②楽しいから③儲かるから。行動（参加）のスイッチを入れるために、あなたにどうプラスになるか？を伝えられるといい！

ひとことアンケートより

どのチームのプロジェクトもおもしろそうだなと思いました。アイデアを考えている時間はとても楽しい／「プレゼンのコツ」についての話がとても勉強になりました。プランを考えるの、なかなか難しいけど楽しいです ほか

【発行・問合せ先】

安城市役所 市民協働課

TEL 0566-71-2218

✉ kyodo@city.anjo.lg.jp

※8:30~17:15 (土日祝日を除く)

7月8日土曜日の朝、アンフォーレ1階多目的室で「あんじょう協働リビングラボ」の第5回を開催しました。参加者は市民・市職員に事務局スタッフを含めて18人でした。

最終回となったこの日、まずは各チームより「おためしアクション」の活動発表をしました。その後、活動を踏まえて「協働推進計画」へ提案する「NEXT PROJECT」を考えて発表！最後に、これまでのリビングラボをふり返って「気づき」と「約束」を1人ずつコメント。未来へのつながりを予感する素晴らしい会になりました！

1. プロトタイプ発表会

各チームから、おためしアクションの活動成果を発表。

B チーム (ゆるっと) 「ゆるっとチェアリング with ドラムサークル」

6月24日(土)の午後、アンフォーレ願いどと広場でチェアリングとドラムサークルをしました！



幸福感を感じにくい、つながりを持ちにくい社会で、ゆるいつながりを感じる居場所。それがチームゆるっとのチェアリング。ただ座りに行く。喋らなくていい。他の誰かと一緒に場所にいるだけ。新たな出会いがあるかもしれない。新たな行動が生まれるかもしれない。安城のまちづくりにつながるかもしれない・・・。

目に障がいのある子が、オカリナの素晴らしい演奏をしてくれました。その子のお母さんは、「もっと演奏する場を作ってあげたいけど、本人は緊張するから・・・」とおっしゃっていました。そんな緊張しない場がくれたのもよかった！



今後は、さらにブラッシュアップして、より多くの人とコミュニケーションがとれる場をつくってきたい。また、ドラムサークルを、市のまちづくりや研修に活かしてもいいのではと思います！

A チーム (Youthful△Community) 「SYU+KU=KATSU」

6月25日(日)午前、市民会館で就職相談会を行いました。事前に申し込み用 Google フォームと学生用募集チラシ、講師用チラシを作成。また、学生に情報を伝えるオープンチャットなども作成しました。当日は、大学生4名、講師は3業種から3名、さらには市職員さんにも加わっていただき、笑いが絶えず、話も止まることなく盛り上がりしました。

終了後のアンケートでは、「ラフな感じで話が聞けてよかった」、「幅広い業種の話が聞けてよかった」、「本音が聞けた」という感想をもらいました。



またアンケートでは、学生が「参加してみたいイベント」や、「普段情報収集に使うSNSのツール」などについても聞きました。最初はなかなか参加者が集まらないですが、こういう取り組みを繰り返していくことで集まってくるのかなと思いました！



C チーム 「還暦式 60 歳からの地域デビュー」

町内会や市民団体の担い手不足の解消のため、参加のきっかけをつくろう、知ってもらうことから始めようということが目的で還暦式を考えましたが、うまくいかず・・・「5 分の 1 還暦式」として、東部小学校 6 年生 80 名に、「12 歳の地域デビュー体験教室」を開催。ちょうど学校も地域に出て行きたいと考えていたことから一気に話がまとまりました。町内会や社協、学校、町民の皆さんも協力してくれました。



まず学校で、「町内会活動の今を知らせる会」をしました。私から高齢化で竹藪や田んぼが地域で管理できなくなっている話や、草を刈ってコスモスやホオズキを植えた話などをしました。

その後、子どもたちがお年寄りの方とつながりをつくりたいという話があり、月例会で東部学区の 10 町内会と先生が集まって、どんなことができるか話し合いました。それで、授業の一環として 6 年生の子どもたちが班に分かれ平日のサロン活動に参加することになり、5 町内のサロンで健康体操や毛糸で絵を作ったりしました。

コスモス街道の草刈りのお手伝いしてもらいました。

夏休みには、自主的に夏祭りやラジオ体操に参加してもらえるといい。9 月には子どもたちが敬老会を計画してくれています！

健康体操サロン 別郷町



サロン活動 別郷町 毛糸絵



各グループの発表で「よかった点(評価)」と「アドバイス(改善点)」をカードに書き、ふりかえりのヒントにしました。



D チーム(つ) 「つくる つたえる つながる ものがたり」

目的は「本を通じた居場所づくり」「世代間交流」「新しい本の楽しみ方の出会い」。そのための活動として、おすすめの本の紹介、読まない本の読書会、物語をつくる、体を動かすこと、をしていきたいということで、まずはプロトタイプとして 6 月 24 日の B チームのチェアリングと一緒に「読まない本の読書会」をしました。当日は、読書会の進め方やわたしたちのチームについての説明をしたあと、グループ分けをして、以下の 3 冊の本で「読まない本の読書会」をしました。



進め方は①本の表紙と題名だけ見て最初の 3 行を考える、②1 ページ目を見て物語の結末を考える、③登場人物の関連図を伝え、物語を考える、④最後に、この本のレビューを考える、です。



次回は、9 月 10 日に 4 冊の本で「読まない本の読書会」をする予定です。ぜひお越しください！



2. グループワーク「KPT ふりかえり～NEXT PROJECT の提案」



他チームからの「評価」「改善」カードも踏まえつつ活動をふりかえり、市民協働推進計画への提案として、協働で新たな価値を生む「あんじょう協働 NEXT PROJECT」を考えて発表！

A チーム(Youthful△Community)

集まれ！若者プロジェクト

若者が主体的にまちづくりやボランティアに参加するようにしたい！どんな要素があれば主体的になるか、イベントや意見箱で情報を集め、出た意見をもとに実施したい！



D チーム(つ) つくる つたえる つながる ものがたり

月 1 回のペースで継続的に活動していきたいと思っています。3 人で団体登録して、市民交流センターを使って開催したい。アンフォーレでもできたらいい！

C チーム

1/X (エクスパンノイチ) 還暦式

地域ぐるみで繋がっている＝理想とする姿。12、15、20、30、60 歳の人を対象に、手軽なものづくりや除草、対話、もちつき、ドラムサークルなどしていけたらいい。

企業にボランティア休暇活用を働きかけたり、大学生が地元の祭りなどで単位が取れるような仕組みづくりができればいいな！



B チーム (ゆるっと)

ゆるっとチェアリング

定期的な同じ場所で開催していきたい。お金がかからない公園などで、椅子を持ち寄ったり、芝生に座って。

各自で楽器を持ち寄って実施できるといい。また安城市がドラムサークルのファシリテーター養成などまちづくりにドラムサークルを活用していけると…

未来を予感させる素晴らしい発表でした。今回で 1 区切りですが終わりではなくこれがスタート！



えいちゃん

3. チェックアウト「わたしの約束」

最後に全員でくるま座になり、これまでのリビングラボをふり返し、「気づき」と「約束」を 1 人ずつ発表！

Awareness

(これまでをふりかえって、気づき・発見)

- ・人の数だけアイデアがある！
- ・1 人では思いつかないことへ発展していく
- ・「つながり」はとても大切
- ・イベントやプランを企画するのは難しいけど、やりがいあって楽しい
- ・安城市を良くするために、いろいろな立場でがんばっている人がいる。若いなり年寄りの考えがあり、補完できる部分も多い。
- ・自分達でまちを良くできる

Commitment

(わたしは安城市のために…を約束します！)

- ・ゆるっとつながっていく
- ・読書会をつづける (みんなが楽しいまち)
- ・まちづくりに対して、主体的にこれからも動く
- ・公私共に地域とつながる努力をする
- ・つながるものがたり、つむぎ、つなげる
- ・高齢化しても楽しく住める市になるように頑張る
- ・福祉の気持ちいっぱいの人を増やす
- ・町内会活動に参加、まちを楽しむ
- ・社会課題に取り組む人を支援する

みなさんに、社会課題を身近なこととして捉えていただいていたことに感動！NEXT PROJECT は実現性が高くワクワクする内容でした。活動を継続していただけるということで、市民協働課も支援・協力させていただきたいと思っています。今後も引き続きよろしくお願いいたします！



市民協働課 早水課長



【発行・問合せ先】

安城市役所 市民協働課

TEL 0566-71-2218

✉ kyodo@city.anjo.lg.jp

※8:30～17:15 (土日祝日を除く)